

育児のちょっとアドバイス

日々の育児の中で、ほっとしたり、ヒントになるような言葉を、本の中から紹介していきます。書籍の貸出も行っています。



まず大事なのは、子どもが言葉を覚える前に、子どもの気持ちを酌んで、言葉をかけるということです。「寂しかったんだね」とか、「ウンチしたかったんだね」とか、「おなかすいたんだね」とか、「おっぱい欲しかったんだね」とか、子どもの気持ちを酌んで、大人から子どもに言葉をかけていくということです。「子どもは、まだ言葉を知らないんだから、それは意味がないんじゃないか」と、思うかもしれませんが、そのようにして言葉にしてもらうことで、自分の気持ちを表現する言葉を覚えていくんです。

特に大事なのは、自分の感情を表現する言葉をかけることです。

講演 DVD 付「子育てハッピーセミナー」より 明橋大二著（1万年堂出版 2008年12月発行）

ほっと れもんてい ニュース

8月、9月はとても暑い毎日でしたね。秋らしくなりほっとしている方も多いことでしょう。真っ黒に日焼けした元気なお子さんの姿に、私たちスタッフも元気づけられる毎日でした。幼稚園が夏休みだったこともあり、2歳以上のお子さんの利用も多く、おもちゃの取り合いなどのトラブルもあつたりしましたが、お互いのお母さんが上手に仲介している姿をみて本当に頼もしく思いました。

10月は、3日・4日に“おもちゃの広場”がやってきます。6月にも開催しましたが、毎回たくさんの方に利用していただいているイベントです。おもちゃのコンサルタントの方が世界中のいろいろなおもちゃをほっと れもんていに持ってきて下さり、遊ぶことができます。また、ちょっとしたハロウィンのイベントも予定しています。お子さんとのおでかけは、準備や気配りなど大変なことでしょう。しかし、その分、お子さんの素晴らしい笑顔があり、今まで気付かなかった成長に気付くかもしれません。お母さん同士でお話することもいいですね。お気軽にほっと れもんていにお越し下さい。お待ちしております。 担当:山室 八潮

8月、9月はとても暑い毎日でしたね。秋らしくなりほっとしている方も多いことでしょう。真っ黒に日焼けした元気なお子さんの姿に、私たちスタッフも元気づけられる毎日でした。幼稚園が夏休みだったこともあり、2歳以上のお子さんの利用も多く、おもちゃの取り合いなどのトラブルもあつたりしましたが、お互いのお母さんが上手に仲介している姿をみて本当に頼もしく思いました。



開設日 : 月～金曜日（祝日を除く）

開設時間 : 9:30～16:00

11:30～13:00はお休みとなります。

利用の際の予約や登録は要りません。

開設場所 : ほっと れもんてい（あゆのこ保育園内）

13:00～15:00は園庭でお子様と自由に遊んで頂けます。

お越しの際は、あゆのこ保育園の駐車場をご利用いただけます。

台数に限りがございますので、ご了承下さい。



地域子育て支援拠点事業（ひろば型）

ほっと れもんてい

2012年 10月号 No. 33

風がだんだんと涼しく感じられるようになってきました。道端にはコスモスの花、空にはトンボが飛び、季節が秋へと巡っていつていることが感じられますね。お子様と一緒に季節の移り変わりを楽しみながら、どうぞお気軽に遊びにいらしてください。ゆっくりのんびりと過ごせるよう、心からお待ちしています。



育児のヒント

皆様の育児の参考にさせていただけたらと、『育児のヒント』を記載しています。

東京都市大学特任教授 山岸道子先生に、保育所保育指針について

3回のシリーズでお話して頂きます。今回は、第3回目です。

保育指針を読み解くNo.3

これからの保育・育児

「大切なふりかえり」

「子育てがたのしい！」と思えることは親子ともに幸せです。「楽しい！」と思えることはきっと育てたように育っていく状態に満足し、子育ての仕組みがよくわかっておられるからでしょう。しかし多くの母親は「悩み・迷い」ながら歩いていきます。そしてたまには逆を歩くことがあってこうなると「一生懸命」がマイナスの方向に行くのですから悩みは増え、疲れます。

保育所では「発達の確認 → 計画 → 実践 → 反省（評価）」をくりかえします。そしてこのことが義務付けられています。「保育士さんは専門職だから当たり前」とお思いでしょうか・・・ 専門職の人がこれらの作業をして母親がしなくていいのでしょうか・・・ やはり子育てを十分行うには絶えずふり返しをして次の計画を立てて行く方がいいですね。保育指針の中では年度当初に自己評価の課題を設定して中間評価 最終評価をします。その評価は一人ではなく 園長や主任とともに振り返るのです。

お母さん方の中には反省しすぎて自分を責めて落ち込む方もおられます。一方、振り返りはせずに「子どもが言うことかかないから悪い」「夫が協力しないからうまくいかない」「姑が余計なことするから・・・」と他罰傾向の方もおられます。いや その方々もきっとストレスがいっぱいなのかもしれません。でも子どもはどんどん成長します。待ってられないのです。その時その時適切な子育てを続けて行くことがある意味で「子を産んだ親の責任」なのでしょう。

振り返り方はまず「うまくいかない」「問題かな」と思うことだけをすればよいのです。その場合大切なことは「発達の姿のとらえ方が正しい」ということです。そのために保育指針をご覧になるといいと思います。日本の子育ての専門家が力を尽くして作成したもっともよい育児書と思われるからです。そして目の前のわが子の状態を冷静に見て「すこし課題があるかな・・・」と思ったら、心を穏やかにして冷静に筋を通した計画（プラン）立てと実践をしていきましょう。そして簡単にでも記録（メモ）を取っておくことです。

このメモは相談に行くときなど大変役立ちます。

保育所では子ども一人一人に個別指導計画を作成します(月単位)

- 1) その子どもの現在の姿 → 課題の見出し 良い点の確認
- 2) 翌月のかかわりなど保育の計画 そのための準備 環境 言葉かけの内容
- 3) 実践(保育)
- 4) 結果の確認と反省

これを繰り返していきます。この場合の月単位は子どもの誕生日(5日の子は毎月5日:満9ヶ月・・・など)で行うといいでしょう。課題を見出すと心が落ち着かず不安定になることは決してよいことではありませんが、「多分大丈夫・・・」と漠然としたままでもよくない場合もあります。

程よく心を調整して楽しみながら希望を持ちながら子育てしていきましょう。

山岸 道子

今月の絵本

～お勧め絵本のご紹介～



『お月さまってどんなあじ?』

作・絵:ミヒヤエル・グレイニェク 訳:いずみほこ

(セーラー出版 1995年)

子どもの頃に『お月さまには、うさぎが住んでいる!』と、そんな想像をしたり、『お月さまが自分の後ろを追いかけてくる!』『何だか手が届きそう!』などと、不思議な感覚を感じたりしたこと、ありませんか? 夜空にぽっかりと浮かぶ月は子どもにとってとても身近なものです。でも決して手の届かない不思議で魅力的なものですよね。

この絵本は、動物達が月を見て『お月さまってどんな味なんだろう。…ほんのひとくち食べてみたいね』と思っていたところからお話が始まります。そして小さなカメが決心し、一番高い山に登って月をかじってみようしますが、なかなかうまくはいきません。途中からは仲間の動物達も加わって皆で協力してお月さまをかじろうと頑張ります。最後はネズミがかじることに成功し、皆で一口ずつ分けて食べますが、さてその味はどんな味だったのでしょうか。

“こうだったら良いな…”“もしかしたら、〇〇かもしれない!”。子どもは現実と願望を入り混ぜながら空想の世界を楽しむことが大好きです。空想を楽しむことは子どもの想像力や創造力の育ちに繋がっていきます。子どもの持つイメージの世界を大切に、実際にはあり得ないことだからと言って、大人の常識で否定したりはしないようにしたいですね。

大人も子どもと一緒に空想の世界を楽しめる、そんな素敵な絵本です。 ほっとれもんてい保育士 小島真由美

食育メモ

『よく噛んで食べましょう』



離乳食を始め、しばらくすると赤ちゃんの舌は上下

に動くようになります(おおむね7～8ヶ月ごろ)。この時期は食べ物を舌と上あごに押しつけて食べている状態で、まだ“噛んでいる”とは言えません。徐々に口の機能が発達してくると、舌を前後・上下だけでなく左右にも動かして食べ物を歯ぐきに移動させ、“噛む”ことができるようになります(おおむね9～11ヶ月ごろ)。よくお子さんを観察してみると、これまでの左右対称の口角の動きとは異なり、左右が非対称で、どちらかの口角が縮みそれに協調して唇もねじれるように動いているのがわかります。この時期から一番奥の乳歯が生えて咬み合ってくる3歳頃まで“歯を使った咀嚼の練習”は続きます。食べにくさは“丸飲み”につながってしまうので、奥歯が生えそう3歳頃までは離乳食の延長と考えましょう。そして、噛むことは、①消化を助ける、②虫歯を防ぐ、③食べ過ぎを防ぐ、④脳の働きを活発にする、⑤顎の骨や顔の筋肉の発達を促し、言葉の発音を助ける、⑥味覚が豊かになる、などの働きがあります。楽しい雰囲気食べる意欲を育てながら食体験を増やしていくとともに、徐々に噛みごたえのある食品もしっかり噛める力を育てていきたいですね。

中川信子監修 『ママが知らなかった離乳食の新常識 かしこい育児はおくちからはじまる』、小学館、2010年

健康ひとくちメモ 「爪のお手入れを・・・」

涼しくなり、外遊びにはよい気候ですが、同時に冬に流行する感染症が発生し始める時期です。手洗い・うがいなど感染予防を心がけましょう。その際に気を付けて頂きたいのが爪を短く切ることです。爪の間に最も“ばい菌”がたまる場所ですので、短く切っておくことで清潔を保つことになります。お子さんの場合、個人差はありますが1日に約0.15mm爪が伸びます。大人よりも伸びるのが早く、また、足の爪よりも手の爪の方が早く伸びます。1週間に1度程度、白い部分が少し残る程度に切りそろえましょう。また、長すぎると爪が割れたり、爪がはがれたり、ひっかいて皮膚を傷つけてしまうこともありますので、けが防止にも大切です。

保健師 山室八潮

10・11月の予定

予約や申し込みは要りません。お気軽にご参加下さい。

10月3・4日(水・木) 9:30～11:30

おもちゃの広場

・・・NPO 法人グッドトイ委員会のおもちゃコンサルタントと一緒に世界のおもちゃに触れてみませんか?詳細は別紙ポスターをご覧ください。

10月9日(火) 10:30～11:30

ミニ保健講座 「応急処置について」

・・・あゆのこ保育園保健師によるテーマごとのミニ保健講座と相談を行います。

10月15日(月) 午前の部 10:30～11:30

おおきなあれ 午後の部 14:00～15:30

～お子さまの身長・体重をはかってみませんか?～

・・・自由に身長・体重が計測できます。

10月19日(金) 13:00～14:30

ちょっとチャット ～拡大版～

・・・湘北短期大学の学生と一緒に遊びながら親子でハロウィンのランタン作りをします。詳細は別紙ポスターをご覧ください。(通常のおしゃべり会はありません。)※どなたでも参加できますが、カービング参加希望の方はお電話にてお申し込み下さい。

10月25日(木) 11:00～11:30

ミニ育児講座 「歌について」

・・・あゆのこ保育園保育士より、日々の育児のヒントとなるようなテーマでミニ育児講座を行います。

イベントは都合により日程等変更する場合がございます。最新のイベント案内をHP、お電話等でご確認下さいますようお願い致します。

11月5日(月) 11:15～11:30

おはなしなあに

・・・あゆのこ保育園保育士による絵本や紙芝居等の読み聞かせを行います。

11月15日(木) 午前の部 10:30～11:30

おおきなあれ 午後の部 14:00～15:30

(10月15日参照)

11月16日(金) 13:00～14:30

ちょっとチャット

～親子遊びとテーマを決めたおしゃべり会～

・・・湘北短期大学の学生による手遊びやふれあい遊び、教員と利用者によるテーマを決めたおしゃべり会です。

11月17日(土) 10:00～11:30

育児講座「気になる行動へのはじめの一步」

講師:茅ヶ崎市こどもセンター 小池良一先生

託児:あり(多数のお申し込みがあった場合は抽選)

※こちらの講座は申し込みが必要です。

申込みの詳細は別紙チラシ・HPにてお知らせ致します。

11月20日(火) 11:30～12:40

ミニ食育講座「スプーン・フォークを使ってみよう!」

・・・完了食・普通食の形状が食べられる1歳前後のお子さん4組対象に園の給食を提供します。

※こちらの講座は申し込みが必要です。

申込みの詳細は別紙チラシ・HPにてお知らせ致します。